

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

平成30年 9月のHPきごころ通信 (先月の話題)

- (1)  学テ、教員評価に反映 大阪市検討、文科省「活用は想定外」
- (2)  こっそり値上げ 「増えた」8割 消費者庁調べ
- (3)  石こうボード2.7%減 1~6月出荷 住宅着工が低迷
- (4)  建築用鋼材 一段高 鉄骨需要、中小向けに波及
- (5)  「自由だから非正規」4割 労働力調査 賃金・待遇も改善
- (6)  石綿 不使用でも報告 建物解体、届出厳しく
- (7)  やっぱり「佐藤」さん最多 5年ぶり名字調査
- (8)  「夏銘柄」下落の異変 ビール、アイス・・・ 暑すぎて消費減
- (9)  ギャンブル依存 拭えぬ不安 患者の回復施設少なく
- (10)  後継者「未定」51% 大阪の中小
- (11)  エアコン出荷 7月過去最高 猛暑、176万台
- (12)  大成建設、海外売上高5倍 2021年3月期 開発参画や提携拡大
- (13)  石こうボード0.8%減 7月、国内出荷量 住宅投資減響く

(1) 学テ、教員評価に反映

大阪市検討、文科省「活用は想定外」

・大阪市は、全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）について、2019年度から市立学校の成績に数値目標を設け、結果を校長などの人事評価に反映する制度を検討。

・文部科学省学力調査室によると、テスト結果を人事評価に反映する仕組みは過去に例がないといいます。

・学力テストは、小学6年生と中学3年生が対象。大阪市は全科目で全国平均を下回る状況が続いているほか、政令市別の結果公表が始まった2017年度から2年連続で最下位。

※全国学力テスト：文部科学省が2007年度から実施。小学6年生と中学3年生を対象。国語と算数・数学は毎年、理科は3年ごとに実施。

(2018年8月3日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2) こっそり値上げ 「増えた」8割 消費者庁調べ

- ・消費者庁の物価モニター調査で、商品の価格は変わらないまま内容量を減少させる「こっそり値上げ」について聞いたところ、「3年前に比べて増えた」との回答は80.8%に。「変わらない」は3.5%、「減ったと感じる」は0.6%。
 - ・「実質値上げが原因で買う商品を変えた、または買うのをやめたことがある」は23.9%。
 - ・「こっそり値上げ」を「不誠実だと感じる」とする回答は22.6%。
 - ・「物価上昇による実質値上げは仕方がない」は19.1%。
- (2018年8月4日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(3) 石膏ボード2.7%減 1~6月出荷 住宅着工が低迷

- ・1~6月の石膏ボードの国内出荷量は、前年同期比2.7%減の2億4258万m²でした。
 - ・同期間で前年実績を下回るのは2年ぶり。1~6月の新設住宅着工戸数が4.9%減と低調に推移したのが影響しました。
- (2018年8月4日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(4) 建築用鋼材 一段高 鉄骨需要、中小向けに波及 一部品種に品切れも

- ・建築に使う鋼材の柳津価格が一段と上昇。中小建造物の柱に使う大径角形鋼管(コラム)は、前月に比べ4%高くなっています。H形鋼や平鋼も2%高。
- (2018年8月6日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(5) 「自由だから非正規」4割

労働力調査 賃金・待遇も改善

多様な働き方なお課題

総務省発表の4～6月の労働力調査で、非正規雇用は前年同期より4%多い2095万人。

- ・「自分の都合の良い時間に働きたいから」が最も多く全体の約3割を占めました。
- ・非正規雇用が増えている理由の一つは、人手不足を背景にした待遇の改善。
- ・6月のパートタイム労働者の時給は1.8%増で、正社員ら一般の所定内給与は0.9%増。
- ・2017年の非正規の賃金は正社員の66%で、5年前より4ポイントも上昇。
(2018年8月8日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(6) 石綿 不使用でも報告 建物解体、届出厳しく

厚生労働省 工事現場の安全強化

- ・厚生労働省は、建築物の解体工事の際に事前に実施するアスベスト（石綿）使用の調査結果の届け出を厳格化します。現在は使用していた場合のみ届け出る必要がありますが、使用していなくても義務付け、不自然な場合は立ち入り調査をします。
- ・労働基準監督署への届け出対象とする解体工事の規模は、延床面積80M²以上で検討。
- ・解体工事の件数は年々増加傾向にあります。2013年に約5万5千棟だった解体件数は2028年に約10万棟に達する見通し。
(2018年8月8日 日本経済新聞記事から抜粋引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(7) やっぱり「佐藤」さん最多 5年ぶり名字調査

・全国で最も多い名字は「佐藤」。2位は「鈴木」、3位は「高橋」。調査は2013年以來5年ぶりで、1~3位の結果は前回と変わりませんでした。

・東日本は「鈴木」「佐藤」「高橋」の順番。西日本は「田中」が最多で、次いで「山本」。「中村」。

(2018年8月9日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(8) 「夏銘柄」下落の異変

ビール、アイス… 暑すぎて消費減

・歴史的な酷暑となる地域が相次ぎ、あまりの暑さに消費そのものが夏バテ。
・気温が1度上昇すると販売量は2~3%伸びるとというのがビール業界の通説。
・最高気温が35度を超えるとビール消費が伸びなくなります。
・暑すぎると口当たりがこってりしているアイスクリームより、さっぱりしたシャーベットなどの氷菓に需要が移ります。7月以降はアイスクリームの需要が伸びていません。

(2018年8月11日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(9) ギャンブル依存 拭えぬ不安 患者の回復施設少なく

日本でカジノ 3か所整備へ

・厚生労働省によると、過去にギャンブル依存症が疑われる状態になった人は推計320万人に上り、最近に限ると約70万人いると推計しています。

・IR実施法は依存症対策として日本人客には週3回、月10回のカジノ入場制限に加え、6000円の入場料を設定。

・患者らがミーティングを行う自助グループは全国に170箇所程度、専門の回復施設は5カ所程度といます。

(2018年8月18日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。



(10) 後継者「未定」51% 大阪の中小

- ・大阪シティ信用金庫は、中小企業の後継者問題についての調査をまとめました。
- ・後継者が未定の企業は51.8%。
- ・60歳代の経営者は全体の22.5%と、前回調査から6.6ポイント低下。40歳代が28.8%と4.5ポイント上昇。事業承継は徐々に進んでいるとみられます。
(2018年8月22日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(11) エアコン出荷 7月過去最高 猛暑、176万台

- ・家庭用エアコンの7月の国内出荷台数が前年同月比10.9%増の176万台で過去最高。
- ・白物家電全体の出荷金額も7月としては過去10年で最高の2811億円。
- ・これまでのエアコン出荷台数の最高値は2013年7月の約170万台でした。
- ・例年エアコンの販売は7月上旬がピーク。猛暑が続き販売が失速しませんでした。
- ・洗濯機の出荷も好調で、前年同月比8.1%増の376000台。
(2018年8月23日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(12) 大成建設、海外売上高5倍

2021年3月期 開発参画や提携拡大

- ・大成建設が海外事業を強化。2021年3月期までに海外売上高を前期の約5倍の2000億円程度に増やします。
- ・近年は好調な国内に注力してきたものの、少子化で将来の先細りは必至。
- ・建設大手は商習慣の異なる海外事業で苦戦してきた歴史があります。
- ・海外強化に当たり、厳格な受注審査や工程管理などリスク対応を徹底。
(2018年8月28日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

(13) 石こうボード0.8%減 7月、国内出荷量

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

住宅投資減響く

・ 7月の石膏ボードの国内出荷量は、前年同月比0.8%減の41,259,000M²。前年実績を下回るのは2か月連続。

(2018年8月30日 日本経済新聞記事から抜粋引用)